

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		川西市子ども的人権オンブズパーソン会議(第5回)		
事務局(担当課)		川西市子ども的人権オンブズパーソン事務局 (市民生活部 人権推進室 人権推進課内)		
開催日時		平成25年12月26日(木) 午後1時 ~ 1時27分		
開催場所		川西市役所 5階 502会議室		
出席者	オンブズパーソン	浜田 寿美男(代表) 井上 寿美 勝井 映子 計3名		
	調査相談専門員	渡邊 充佳(チーフ) 新林 智子 村上 裕子 平野 裕子 計4名		
	事務局	藪野 俊介		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>日程1 会議録署名人の選任</p> <p>日程2 報告事項 2013(平成25)年1月~11月の相談受付状況について</p> <p>日程3 協議事項 議案第5号 2013(平成25)年次の運営状況等の報告及び公表について</p>		
会議結果		別紙、審議経過のとおり		

審議経過

日程1

会議録署名人の選任

勝井オンブズパーソンが選任された。

日程2 報告事項

2013(平成25)年1月～11月の相談受付状況について

チーフ相談員から、2013(平成25)年1月～11月の相談受付状況について、新規の相談件数と月別の延べ件数及び前前年・前年同時期との比較、相談者の内訳(子ども、保護者、教職員等別)、相談受付の方法(電話、来所、訪問、手紙等別)、相談者別の訴えの内容等について、集計表に基づき報告を行った。

2013(平成25)年次の主な特徴として報告されたのは、次のとおり。

- ・新規相談件数は196件(前年同時期189件)、特に、相談の延べ件数は821件(同636件)と大幅に増加し、過去最多となった。その要因としては、相談内容が複雑化していることに伴う面談回数が増えたことによるもの。
- ・相談者の内訳は、子どもが37.3%、保護者が39.8%、教職員等が22.9%で、前年同時期に比べ、子どもの相談・面談の割合が増えた。
- ・訴えの主な内容(主訴+副次的訴え)は、子どもからは、「家族関係の悩み」が最も多く、次いで、「不登校」・「交友関係の悩み」・「教職員等のその他指導上の問題」の順、おとなからは、「家族関係の悩み」・「子育ての悩み」・子どもの「不登校」・「学校・保育所等の対応の問題」の順となっている。

日程3 協議事項

議案 第5号

2013(平成25)年次の運営状況等の報告及び公表について

議案説明:

川西市子どもの人権オンブズパーソン条例第20条の規定により、2013(平成25)年次条例運営の状況について、市長への文書報告(2月中)及び市民への公表を行うのにあたり、その報告の事項及びその内容について、オンブズパーソン会議の審議を経るため、本案を提出するもの。

協議経過:

2013(平成25)年次の活動報告事項について、報告書「子どもオンブズ・レポート2013」の章立てと編成内容(案)、「年次活動報告会」(3月21日(金・祝日)、みつなかホール・文化サロンの開催内容(案)が提案され、協議の結果、活動報告会のテーマ「子どもの声を受けとめ、“希望を語れる社会”をつくるために」をはじめ、のいずれも原案のとおり、オンブズパーソン全会一致で決定された。